



# 大部っ子

大部小だより

令和5年1月

「やさしく かしこく たくましく」－自ら学び、ともに生きる児童の育成－

文責：学校長



## 新春のお慶びを申し上げます

吉 岡 優

2023年という新しい年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって幸せと笑顔がたくさん的一年里になりますよう、お祈り申し上げます。さて、年が明け、新学期が始まりました。校舎のあちこちで子どもたちの元気な声やあいさつが響き渡っています。そして、大部小は今日の3学期始業式をもって、新しい年のスタートを切ったところです。今年度も残りわずかですが、子どもたちには一日一日を元気に過ごしてほしいものです。

日本では新年のあいさつは「あけましておめでとうございます」が慣例となっていますが、世界に目を向けるとそれぞれの国で、それぞれの言葉で新年をお祝いしています。(右表参照)

### 世界の「あけましておめでとう」

英語	Happy new year
中国語	新年快乐
韓国語	새해 복 많이 받으세요
タガログ語	Maligayang bagong Taon
ベトナム語	Chúc mừng năm mới
フランス語	Bonne année
スペイン語	Feliz Año Nuevo
オランダ語	Gelukkig nieuwjaar
ドイツ語	Frohes neues Jahr
インドネシア語	Selamat Tahun Baru
イタリア語	Buon anno

1月1日はだれもが決意を新たに、『新しいことに挑戦するのだ』とそんな前向きな気持ちになるのは万国共通かもしれません。今年こそ、コロナに影響されることなく、1年1年が楽しく、充実したものになることを願ってやみません。学校は子どもの安全安心を第一に、心身の成長と学力の向上をめざし、「[夢と希望の教育](#)」の推進に尽力していきます。

## そうだ!本を読もう!

人が成長するためにはしっかりと栄養を取らなくてはなりません。体は食べることで、心は自然や人とのつながりの中で、頭は勉強や読書で育ちます。というわけで、実は昨年末『[読書で創造性を伸ばし、夢と希望をかなえよう! <File68>](#)』と題して「川島隆太先生の夢と希望をかなえる脳科学 Short Seminar」に新着動画がアップされています。「読書の効果」がよくわかる動画です。[大部小だより \(デジタル版\)](#)にもリンクを貼っています。

## 始業式で話したこと

年始、コロナの感染状況が悪化していたため、急遽始業式をオンラインで行いました。「十二支のはじまり」のお話をしました。また、3学期は今年のととのめ時期であるとともに4月の進級・進学に向けての準備期間でもあるので、子どもたちとく**6つの約束**（右表）をしました。みんな、真剣にお話を聴いてくれました。

### <6つの約束>

- (1) 仲間を大切にする思いやりの心
- (2) 注意を素直に聞く姿勢
- (3) 授業に真剣に取り組むこと
- (4) 家庭学習とお手伝い
- (5) 早寝早起き朝ごはん
- (6) 交通ルール順守

## 学校評価 2022 へのご意見への回答

昨年末に学校評価を実施したところ保護者様からご回答とご意見をいただきました。ありがとうございます。複数の回答があった内容について、コメントさせていただきます。



### (1) 学校の教育活動への感謝のおことば

感謝のおことばやご意見を多数頂戴いたしました。本校といたしましては、とてもうれしい限りです。ありがとうございます。今行っているわが校の教育活動の実践に甘んじることなく、今後も真摯に、精一杯教育活動を行ってまいりますので、よろしく願います。ちなみに、小野市立学校ではコロナ禍において『**学びを止めない**』をモットーとしていますが、わが校におきましても、**感染症対策の徹底**の上、できる限り学校行事を止めない方向で計画・実施を考えております。今後とも学校の教育活動の推進にご理解とご協力をお願いいたします。

### (2) 学校行事（オープンスクール・PTA行事）等の連絡・周知方法について

学校の行事等日程については1か月前をめどに案内文書を配布しております。また、学年通信（含PTA総会資料）、HP・メールなどでもご確認できます。特に、警報等が発令された場合は即時性が必要とされますので、メールチェックはこまめにさせていただくと幸いです。

### (3) いじめのない学校づくり

人権関連の質問に対する回答から、保護者のみなさまは子どもたちの言葉遣いや相手の立場を考える姿勢等を気にかけておられるのがよくわかりました。学校では道徳や人権教育を全教育活動のベースとして教育活動を推進していますが、ご家庭でも同様に言葉遣いや思いやりの心の育成にはご尽力いただいていることと感謝しております。しかしながら、このことは地道に、継続して指導していかなければならない項目で、一回の指導で終わりということはありません。特にいじめ等（悪口・無視・仲間外れなど）への対応は家庭と学校が同一歩調で継続して取り組んでこそ解決していけると考えております。家庭と学校間で情報共有を密にして取り組みたいと考えています。